中部農業改良普及センターだより

e-mail：CE0017@pref.iwate.jp
ホームページはこちら➡

令和８年 11 月発行　第 23 号

◇中部農業改良普及センター
TEL：0197-68-4464
◇西和賀普及サブセンター
TEL：0197-82-3125
◇遠野普及サブセンター
TEL：0198-62-9937

農作物の栽培管理（11～12 月）ワンポイントアドバイス

直近の３か月予報（10 月 20 日気象庁発表）及び寒候期（12 月～２月）予報によると、**寒気の影響が小さいため、冬の気温は高く、低気圧の影響から、冬の降水量は平年並か多い予報**です。今後の気象情報に注意し、積雪前の管理や次年度に向けたほ場内外の整備に取り組みましょう。

◆　小麦

・小麦の生育確保及び適期作業の実施に向けて、**ほ場内明渠は必ず年内に設置**しましょう。
・ほ場が乾いていることを確認し、**越冬前３～６葉期に麦踏み**を実施しましょう。
・**雪腐病類**の発生が懸念される場合、対象の薬剤を**根雪前に散布**しましょう。

◆　大豆

・汚損粒の原因となる**青立ち株や大型雑草**は収穫前にほ場から除去しましょう。
・大豆の**収穫適期は茎水分 50%以下**（分枝が手でポキポキ折れる）、**子実水分 20%未満**（爪を立てると僅かに傷がつく）が目安です。適期に達している大豆は速やかに刈り取りましょう。

◆　野菜

・**罹病株の残渣は、病害虫の伝染源**となるので、栽培終了後は、根ごと抜き取ってほ場外へ持ち出し、適切に処理しましょう。
・**残渣処理の際**は、茎の断面や根を確認し、**土壌病害やセンチュウ被害の有無を確認**しましょう。
・被害が見られた際は、次年度に向け、接木の導入、薬剤処理、土壌消毒等の対策をしましょう。
・**ハウス内の雑草は、害虫の越冬場所**となるため、随時、処分しましょう。

◆　果樹

・廃棄果実は、地中深く埋めるか破砕処理等で**獣害を寄せつけない園地環境づくり**に努めましょう。
・苗木や若木は野ネズミの食害を受けやすいので、各種忌避剤、殺そ剤を活用します。**殺そ剤や忌避剤は根雪直前に処理**しましょう。
・凍寒害の発生が心配される園地では、**若木を中心に**地際部から高さ 50cm 程度まで、炭酸カルシウム剤（商品名ホワイトンパウダー）を塗布するか、わらを巻く等して被害の軽減を図りましょう。

◆　花き

【りんどう】**茎がレモン色～山吹色になったら、地際 15cm 程度残して刈り払い**ます。今年は雨が多いせいか、例年より遅くまで茎が生きていますが、そのような場合は**刃物は使用せずに 40～50cm 程度の高さで折り取って**おき、あとは越冬後に片づけるようにします。
【小ぎく】親株活着までは 10～25℃の範囲で管理しますが、**活着後は凍らない程度の温度があれば充分**です。保温開始までは低温の環境において、しっかり株を眠らせてあげましょう。

◆　鳥獣害対策（冬期間の電気柵の管理）

【恒久電気柵】**使用する場合**は、雪に埋まるワイヤーの**結線を外し**、残りの**ワイヤーは常時通電して野生獣が電気柵を安全だと学習させないようにします。使用しない場合は、電源を切り**、緊張を緩め、**ワイヤーを全て地面に下ろします。**
【簡易電気柵】ワイヤーやポールの**劣化を防ぐ**ため、栽培終了後**速やかに撤去**します。

産地の紹介（いわてアグリベンチャーネットから抜粋）

《中部》産直情報『～心晴れやかになる居場所～産直あおぞら』

花巻市東和町の国道 283 号沿いにある「産直あおぞら」は、前身の「農家の八百屋さん」の運営を経て、平成 15 年に設立され、現在 75 名の組合員が自慢の農産物を販売しています。入り口には季節の花を多数取り揃えており、お客様に愛される産直であり続けるための心遣いが伺えます。



また、併設の「母ちゃんレストラン『つたの輪』」は、地産地消、母ちゃんの手作りにこだわった健康的なメニューが魅力で、中でも自家製の「だまこ」を入れたオリジナル料理「金だまこ汁」がおすすめ商品です。



さらに、「おやつショップまつば」では、県産の材料を多く使用したたこ焼きや大判焼きを販売しています。

人口減少が進む地域においても、多くの利用者が訪れる地域住民の拠り所となっています。

農業農村指導士さんの紹介（R7 年度認定）

渡邊　和成さん（北上市）



◇経営概要

水稲 16ha、小麦 14ha、大豆 9.4ha

◇経営の特徴

農地の集約化や多収性・耐病性・高温耐性品種の導入、スマート農業技術の活用により、生産性向上と省力化を進めています。また、地域の未利用有機資源の活用による環境負荷低減とコスト削減に取り組むとともに、多様な販路確保で収益の安定化を図っていきます。

農業者だけではなく地域住民との交流促進や小中学校と連携した食育活動等を通じて、持続可能な地域農業の実現を目指していきたいです！

「家族経営協定セミナー」のご案内



日時：令和８年 12 月 18 日（金）13:30～15:30

場所：メイン会場　サンセール盛岡、サテライト会場　奥州合庁ほか

内容：①講演「『やってみたい』を活かして、自分らしく農業に関わる方法を探る」

②事例紹介　紹介者：雫石町農業農村指導士　細川義経氏・細川睦氏

家族経営協定に興味のある方、ありそうな方へもお誘いの上ご参加ください！

普及現地情報は「いわてアグリベンチャーネット」にも掲載しています。
過去の記事も閲覧できますので、是非ご確認ください。➡